

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年7月27日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年7月27日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【サブドレン集水設備No. 1 集水タンクブロー弁のシート漏えい※について】 協力企業作業員がサブドレン集水設備No. 1の分析試料採取準備の際、排水先であるプラスチック製タンクへの配管から水の連続滴下を確認。 集水タンクブロー弁を「開」にし、配管洗浄後に集水タンクブロー弁を「閉」にしたが、連続滴下が止まらなかった。 集水タンクブロー弁の上流側にある集水タンク採取元弁を「全閉」にしたところ、配管からの水の滴下が停止した。 以上の対応から、集水タンクブロー弁のシート漏えいによる水の滴下であると推定。 今後、集水タンクブロー弁の点検および対策を検討予定。 ※シート漏えい: 弁内部の隙間から配管内部に漏えいすること。</p>	GⅢ	7月19日